

# まちづくり提案箱 分析レポート

2026/1/19

株式会社オプテージ

ビジネスコンサルティング部



# Agenda

01	レポート条件	2
	レポートの目的や実施期間について	
02	分析概要	4
	取り組み概要・取得データ・分析の観点について	
03	分析結果	10
	各種分析結果について	
04	まとめ	34
	分析のまとめについて	

# 01

## レポート条件

01 レポート条件

02 分析概要

03 分析結果

04 まとめ

## 1-1. レポート条件

レポートの目的	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 簡易版Taview(以下、デジタル目安箱という)を活用し市民からの意見を収集</li><li>✓ デジタル目安箱で<b>集まった意見を元に、事業化に資するキーワード・意見を整理</b></li></ul>
データ集計期間	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 令和7年7月4日～令和7年10月28日 &lt;117日間&gt;</li></ul>

# 02

## 分析概要

01 レポート条件

02 分析概要

03 分析結果

04 まとめ

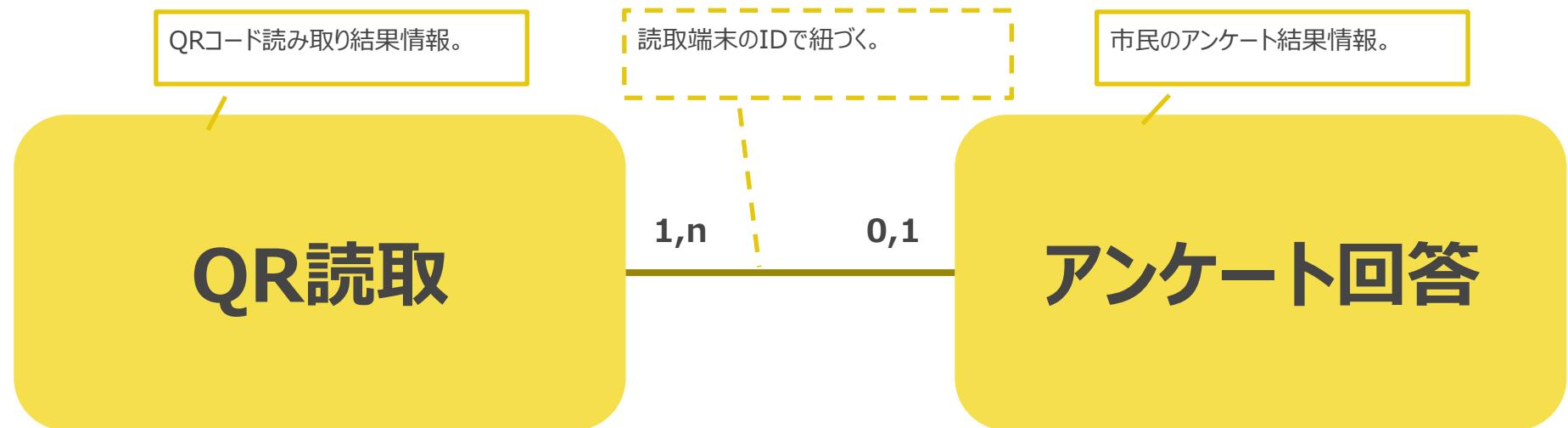
## 2-1. デジタル目安箱の利用の流れと蓄積されるデータ

デジタル目安箱は各拠点に配置したQRコードを認知し、市民がアンケートに答えるという流れとなります。その際に下記のデータを取得しています。



## 2-2. データの関係

QRコードを読み取ったがアンケートに回答しなかった、アンケート回答後に別のQRコードを読み取った などがあるため、Taviewに蓄積されるデータは下記のような関係性となります。



正常に回答

1 件

1 件

QR読み取りで  
アンケート  
未回答

1 件

0 件

複数回  
QR読み取り

2 件以上

1 件

## 2-3. アンケート設問

デジタル目安箱のアンケートは下記3問となります。

### 01 あなたの年齢を教えてください

10歳代、 20歳代、 30歳代、 40歳代、 50歳代、 60歳代、 70歳代、 それ以上 の中から選択

### 02 あなたのお住いの地域を教えてください

山東地域、 伊吹地域、 米原地域、 近江地域、 長浜市、 彦根市、 それ以外の市外、 回答しない の中から選択

### 03 どのようなまち・どのような暮らしなら米原市がもっと住みやすくなるか教えてください

自由記述 (500文字以内)

## 2-4. QRコード設置場所

デジタル目安箱のQRコードは、以下の設置場所に加えYouTubeや広報まいばらなどのメディアに掲載しています。



## 01 設置場所

- 本庁舎窓口
  - 本庁舎3階(TETTE)
  - 山東支所
  - 近江市民自治センター
  - 伊吹市民自治センター
  - 近江図書館
  - 山東図書館
  - ルッチプラザ
  - 近江学びあいステーション
  - 米原学びあいステーション
  - 山東学びあいステーション
  - ジョイいぶき

## 02 掲載メディア

- 広報まいばら
  - YouTube
  - Facebook
  - 伊吹山テレビCM
  - 米原市WEBサイト
  - 新聞
  - 手持ちチラシ
  - すみトーク
  - その他

## 2-5. 分析の観点

---

今回の分析は下記 2 点の観点で行いました。

Taviewを利用したアンケート収集力を整理するとともに、得られたアンケート結果に対する分析を行います。

### 1 アンケート収集力の評価

---

- ✓ デジタル目安箱でのQR読取件数やアンケート回答数より、Taviewのアンケート収集力を確認
- ✓ どの拠点/メディアに設置したQRコードが読み取りされているかや、アンケート回答者の属性(年齢・居住地)を整理

### 2 アンケート結果の分析

---

- ✓ アンケート回答を下記 2 つの手法で分析
  1. キーワード分析
  2. トピック分析
- ✓ 傾向やキーワード・意見の抽出

※ 分析手法については後述

# 03

# 分析結果

01 レポート条件

02 分析概要

03 **分析結果**

04 まとめ

3-1

# アンケート収集力の評価

アンケート回答数

101 件

※1

QR読取のべ回数

556 件

複数回読取分を1人1件へ（初回＝アンケート回答分を正へ）

QR読取回数  
(総数)

464 件

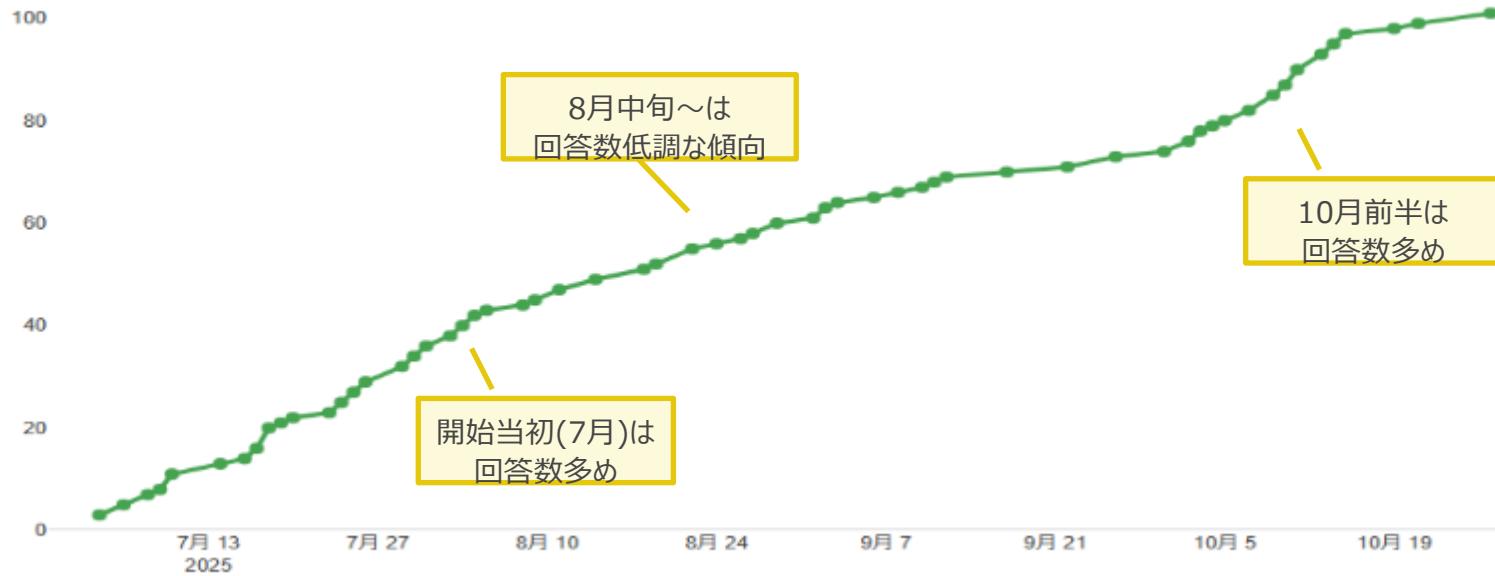
※2

※1：1件を除外 (Q3の回答内容より判断)

※2：以降の分析のQR読取回数は総数にて実施

### 3-1. アンケート収集力の評価 ~ アンケート回答数の推移 ~

アンケート回答数推移（累計）



#### 回答数の推移

- ✓ 1日あたりの回答数は0.9件/日。
- ✓ アンケート開始当初の1か月間(7月)は回答数が多い。※前回と同様な傾向
- ✓ 週別で見ると、8月中旬以降の回答数が少ない傾向が見られる  
→8月中旬以降の低調は、アンケート開始から約1か月半が経ち、ユーザからのQRコードの認知や回答が一巡したためと考える
- 10月前半の回答数の増は、この時期に職員から積極的な声掛けもしており、回答増に繋がったと考える

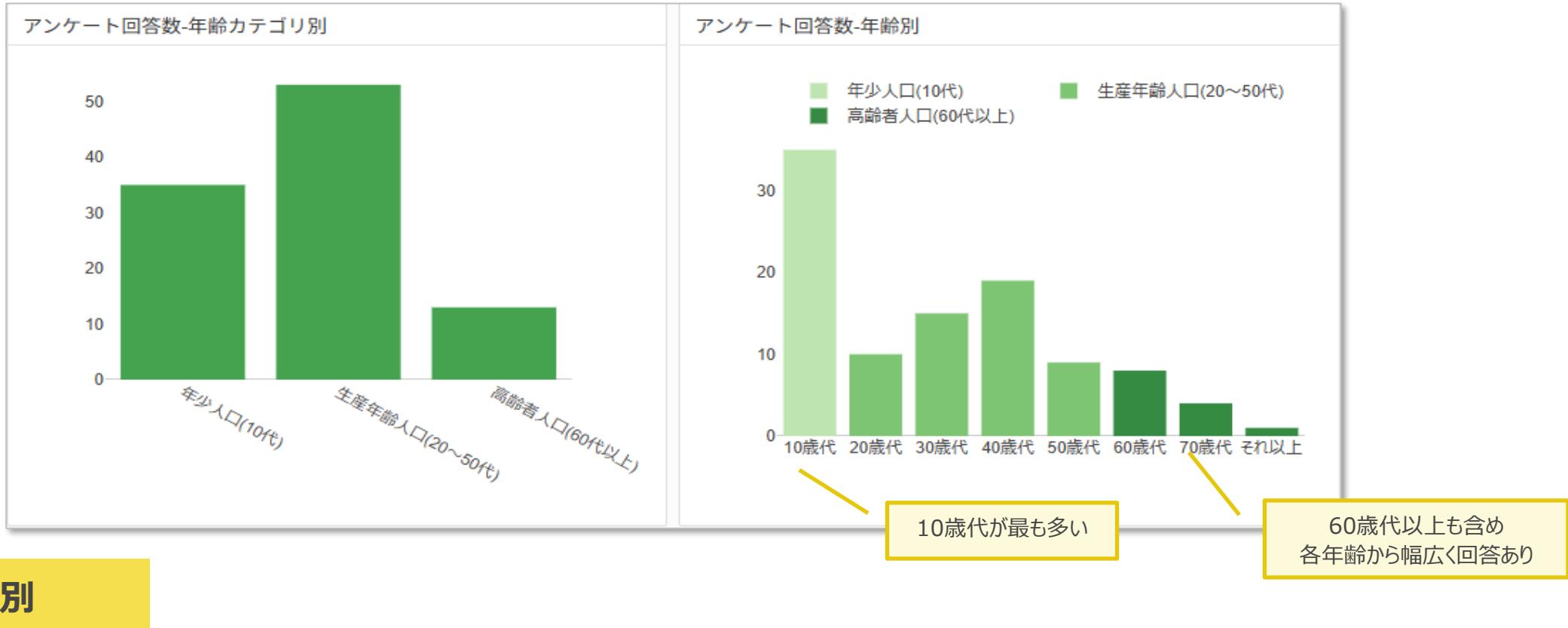
#### （参考）週別

	合計	7/4～ ※金～土	7/6～	7/13～	7/20～	7/27～	8/3～	8/10～	8/17～	8/24～	8/31～
QR読取	464	28	26	22	24	27	34	19	34	21	39
アンケート回答	101	3	8	10	8	10	6	4	8	3	5
1日あたりの回答数	0.9	1.5	1.1	1.4	1.1	1.4	0.9	0.6	1.1	0.4	0.7

	9/7～	9/14～	9/21～	9/28～	10/5～	10/12～	10/19～	10/26～28 ※日～火
--	------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	------------------

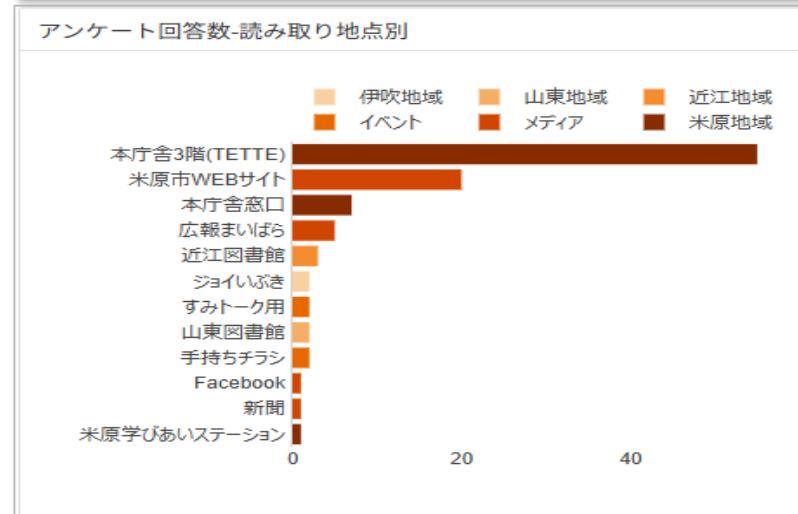
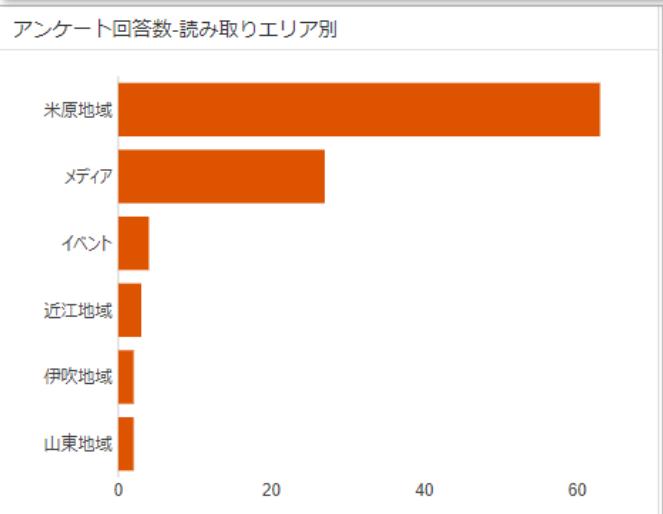
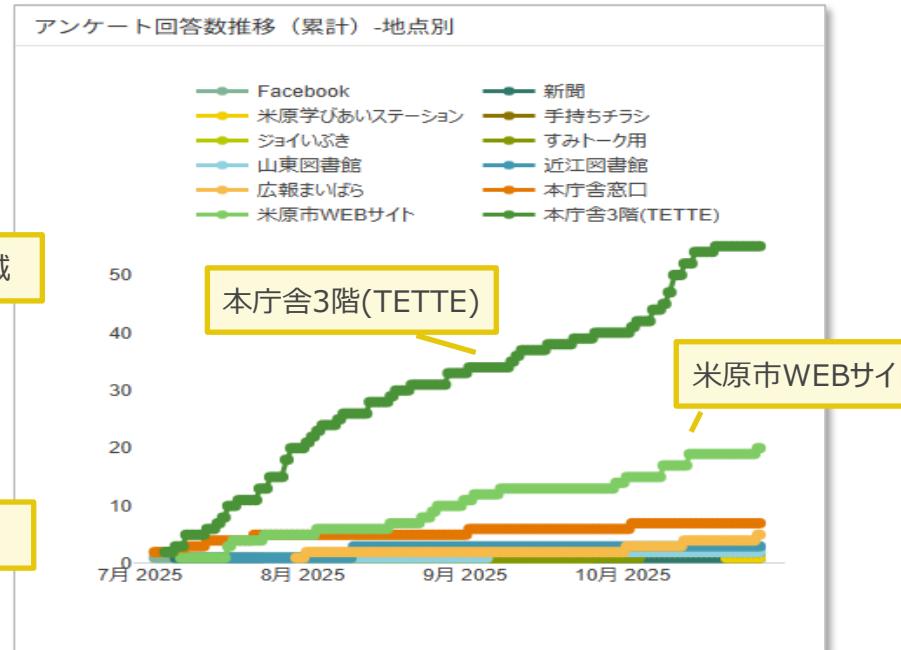
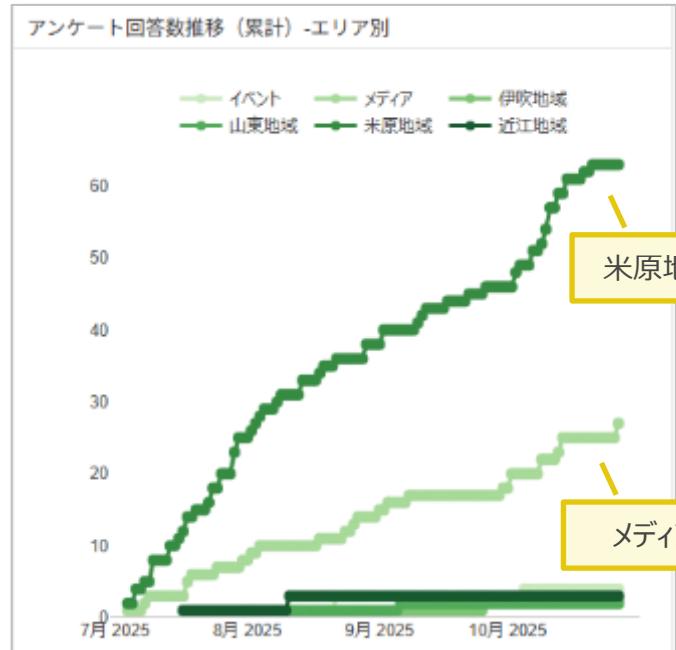
QR読取	41	22	22	28	32	25	12	8
アンケート回答	4	1	3	6	11	7	2	2
1日あたりの回答数	0.6	0.1	0.4	0.9	1.6	1.0	0.3	0.7

### 3-1. アンケート収集力の評価 ~ 年齢別アンケート回答数 ~



- ✓ 年齢別で見ると、10歳代の回答数が多い。  
20歳代以上も各年齢から幅広くアンケート収集できており、高齢者人口(60歳代以上)からも回答を得られている。※前回と同様な傾向  
→従来の市民向けアンケートと比較したデジタル目安箱(Taview)の好要因について、  
QR読み取りで簡単に回答できる事、アンケートがシンプルな設計になっていることが要因と想定。さらに個人情報の取得しない仕組みであることも回答のしやすさに繋がっていると想定。  
→Taviewは広聴のDX化に向けた取り組みとして評価できると考えます

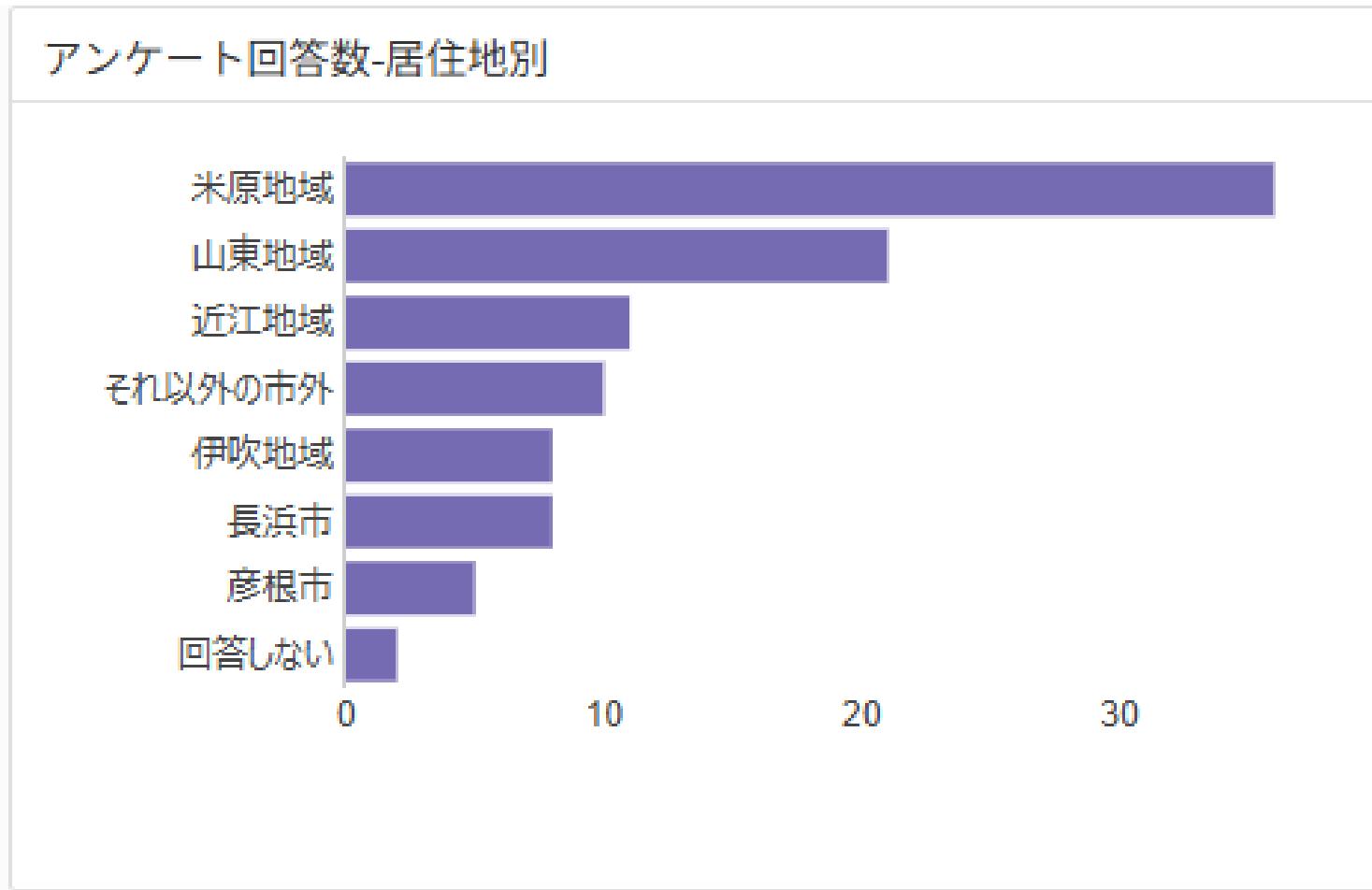
### 3-1. アンケート収集力の評価 ~ (QR読み取)エリア／地点別アンケート回答の推移と数 ~



#### (QR読み取)エリア／地点別

- ✓ QR読み取りのエリア別は米原地域が突出して多く、地点別ではTETTEからの回答が多い。  
※前回と同様な傾向
- ✓ 次いで、メディア(米原市WEBサイト)からの回答が多い。
- ✓ **TETTEからの回答が多い要因**は、人が多く集まる場である事、長時間滞在する方が多い事、そして座席ごとにQRコードを配置する等の工夫により、隙間時間に手軽に回答できる点が影響していると考えます。

### 3-1. アンケート収集力の評価 ~居住地別アンケート回答数~

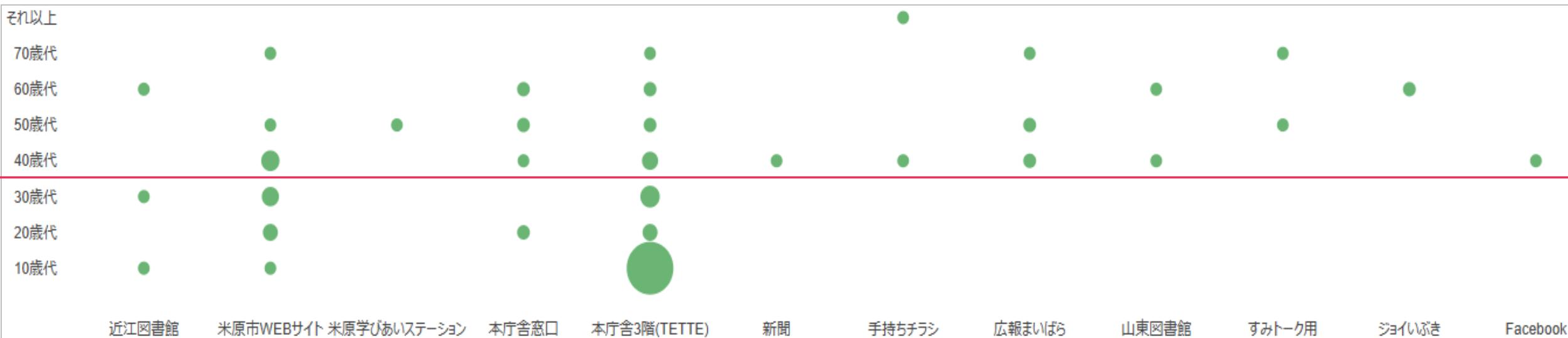


#### 居住地別

- ✓ 居住地別で見ると、米原地域、山東地域の順に回答数が多い。
- ✓ 市外は、長浜市、彦根市、それ外の3区分に分けているが、市外(合計)では23件の回答があった。そのうち19件がTETTEからの回答 ※前回と同じ傾向

### 3-1. アンケート収集力の評価 ~ (QR読み取り)地点 × 年齢別アンケート回答数 ~

#### ■ 読み取り地点別年齢別アンケート回答数



円の大きさ = 回答数

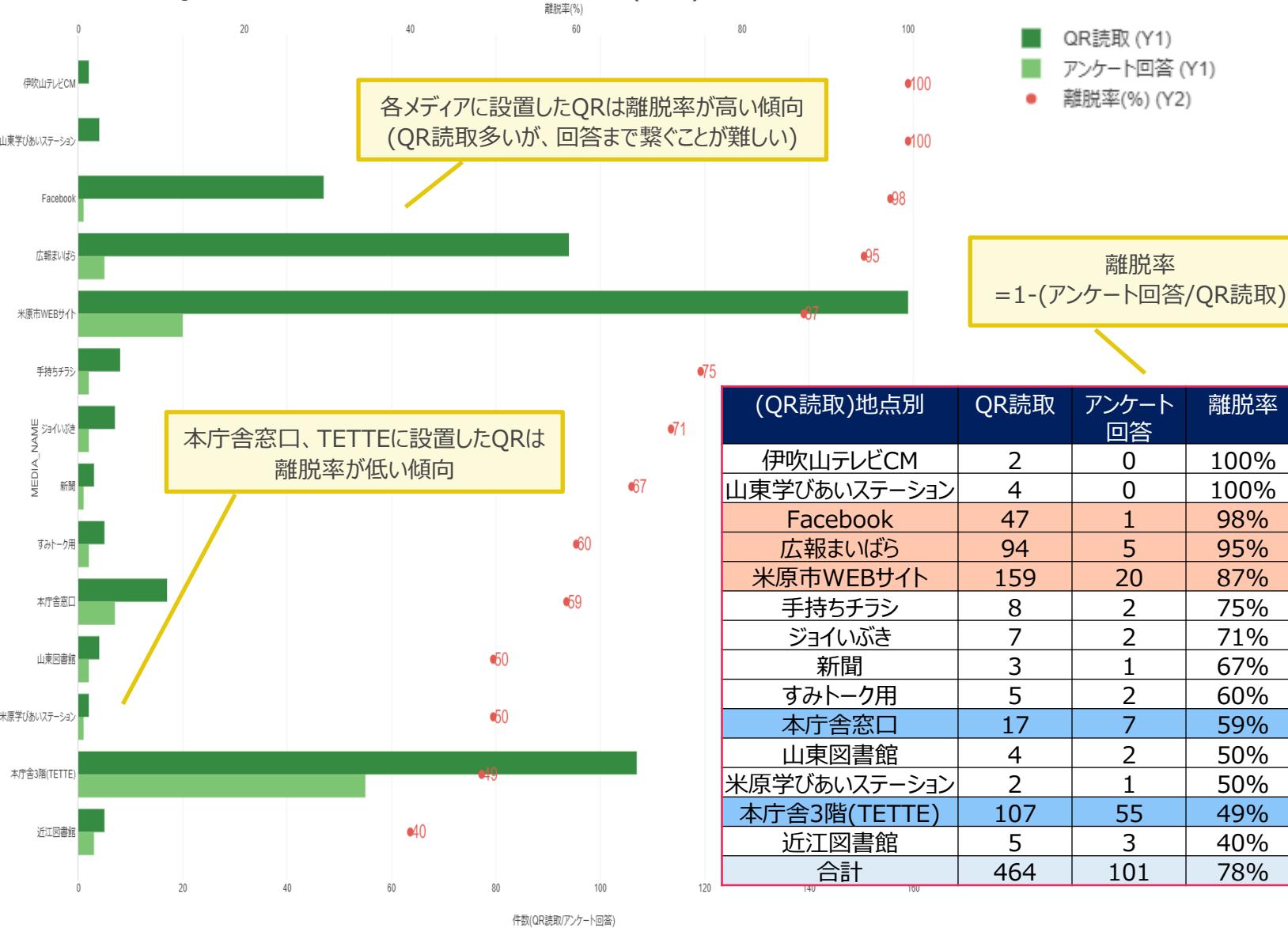
30歳代以下と40歳代以上で  
異なる傾向が見られる

#### (QR読み取り)地点 × 年齢別

- ✓ 10歳代～30歳代は、TETTE、米原市WEBサイトが多く、QR読み取り地点のばらつきも少ない
- ✓ 40歳～それ以上は、件数が少ないながらも、新聞や広報まいばら等のメディア、および手持ちチラシやすみトーク等のイベントからの回答もある
- ✓ イベント系では、手持ちチラシ、すみトーク用からの回答があったが、回答数は合計4件であった。  
→前述の通り、TETTEからの回答が多い要因に「隙間時間に手軽に回答できる点」があると仮定すると、  
イベント系でも、配布方法やタイミングなどを工夫することでより多くの回答が得られる可能性があると考えます

### 3-1. アンケート収集力の評価 ~ 地点別QRコード読取数・離脱率 ~

#### ■ 読み取り地点別QR読取件数、アンケート回答数、かつ離脱率(降順)



#### 地点別

- ✓ QR読み取り数では米原市WEBサイトが最も多いが、アンケート回答数ではTETTEが最も多い
- ✓ 離脱率で見ると、Facebook、広報まいばら、米原市WEBサイトなどメディアに設置したQRは、読み取り件数は多いが、アンケート回答が少なく、離脱率が高い傾向が見られる。
- ✓ 対して、TETTEや本庁舎窓口など各拠点に設置したQRは離脱率が低い傾向が見られる。  
※総QR読み取り件数が少ない地点は、1件あたりの離脱率の増減が大きいため、参考値の扱い

# キーワード分析

3-2-1

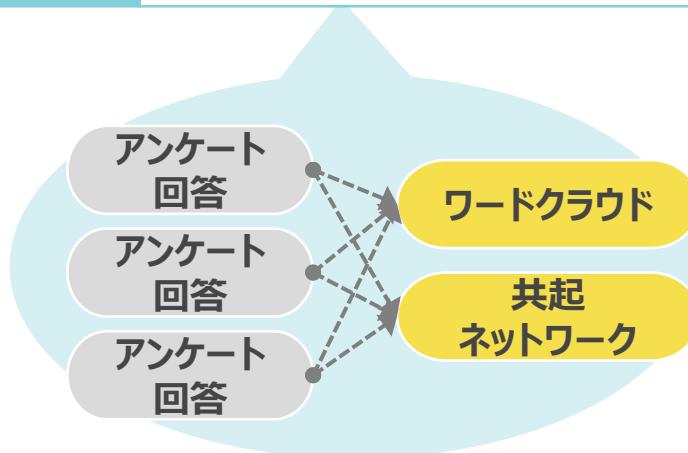
全体

## 3-2. アンケート結果の分析 ~ キーワード分析 ~

アンケート回答を要素分解しキーワードの分析を行いました。

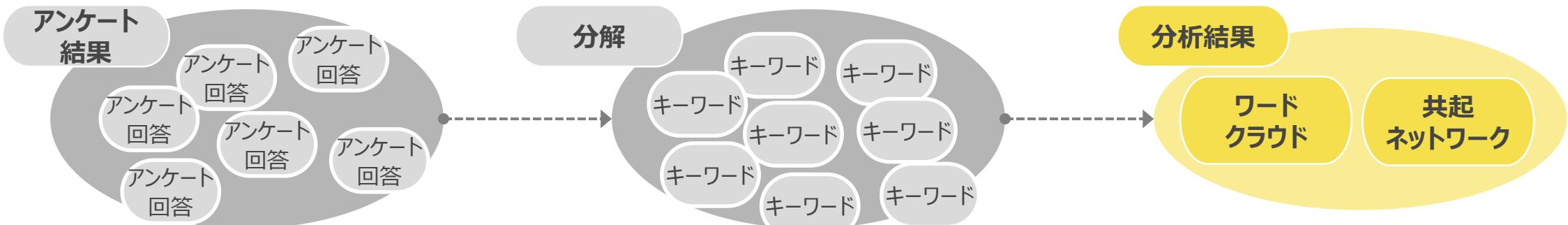
### 分析手法

#### キーワード分析（テキストマイニング）



### アンケート回答のキーワード分析

収集したアンケート結果をキーワードへ分解し分析を実施



## 3-2. アンケート結果の分析 ~ ワードクラウド ~

## 質問

どのようなまち・どのような暮らしなら米原市がもっと住みやすくなるか  
教えてください

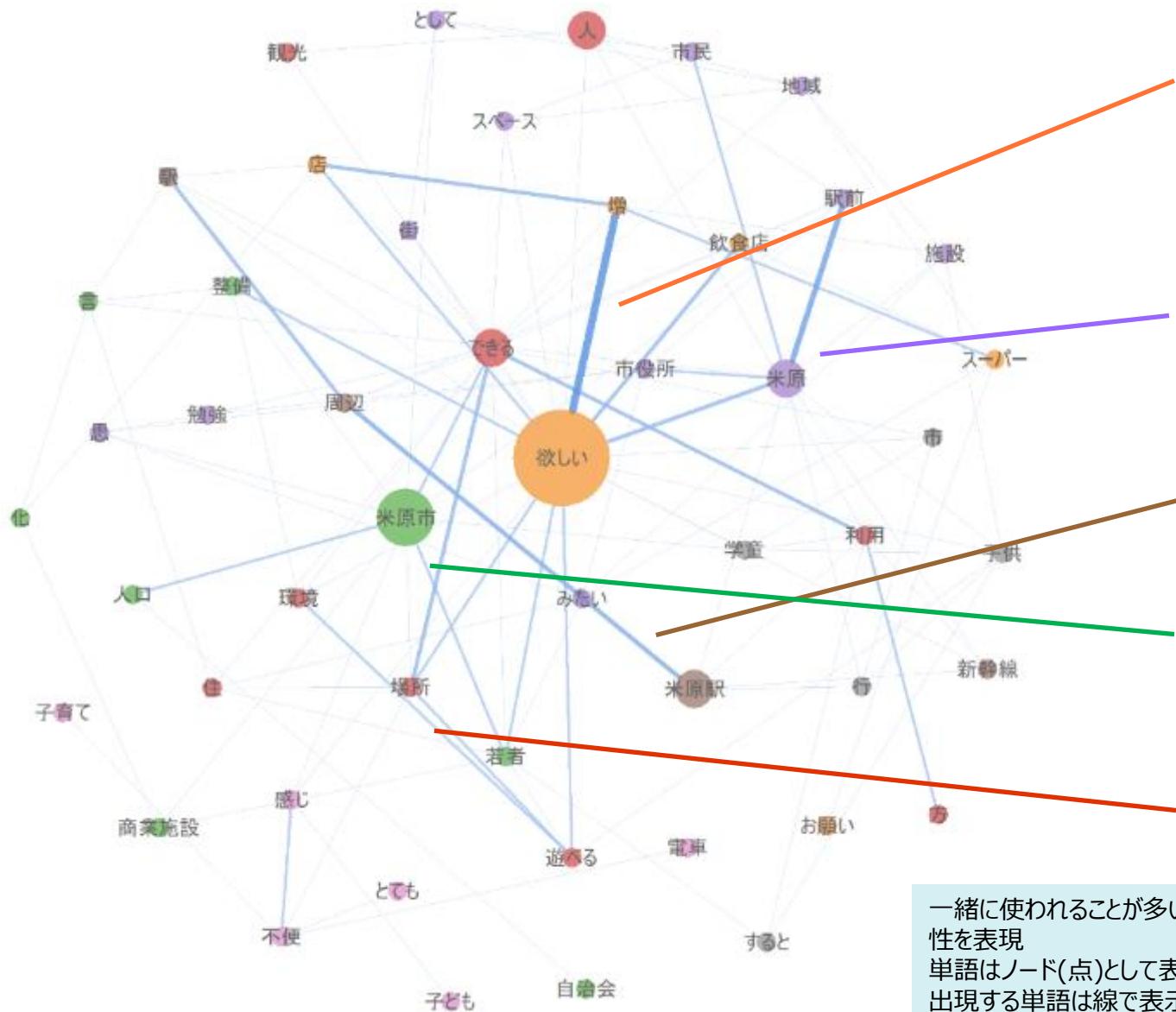
灰色の単語が多く、中心の色付きの単語が少ない  
→幅広い意見が集まったといえるが、同時に回答がばらついたともいえる

単語の出現頻度を表現  
出現頻度が大きい単語は、より大きく、中心に位置するように表現されます。(同じ色は同じ出現頻度であることを示します)

## ワードクラウド

- ✓ 今回収集したアンケートでは、「欲しい」という単語が多く使われていることが分かります。そのため、その周辺に表れている単語が、力を入れてほしい事、改善を期待している事と捉えることができると考えます。
  - ✓ 今回のアンケート結果は、中心に位置するキーワードが少ない(=出現頻度が大きい単語が少ない)ことが分かります。  
これは質問内容が自体が、広く意見を収集するために設定することを目的に設定したため、回答のブレ幅も大きくなつたと考えます。
  - ✓ 今回の結果を基に、今後のアンケート方法を考えた場合、以下のような方針が考えられます。
    - ・**広く意見を収集する事を優先する場合、**より多くの「量を集める」ために、QR設置場所、イベントでの配布方法、タイミング、声掛けなどの取り組みの見直しも必要と考えます。  
⇒P.37「4-1.アンケート回答数の増加に向けて」参照
    - ・**特定テーマに対する意見の収集を優先する場合、**(回答数を増やす事が難しい場合等)「聞きたいことを絞ったアンケート」を設計する必要があると考えます。

## 3-2. アンケート結果の分析 ~ 共起ネットワーク ~



若者が、住みたがる街になって欲しい←米原駅前に、もっと大型の**お店**、駅直結の保育園や、**飲食店**が拡充されて欲しい(若者がきて欲しい狙い場所を集中させる)←米原駅で乗降する人を**増やす**(湖北エリアに旅行にくる人を、乗換させず、米原駅で降ろさせる)←例えば、?駅前をしっかりしたバスターミナルにして、長浜、彦根への観光エリアを周回するようなバスを拡充する、?(遠方からの電車通勤で)長浜や米原市に通勤する人は、駅前駐車場の利用料を補助するなど

なんでも隣の市に行かなくてもいい、米原市内で完結できる市になって欲しい  
**米原駅前:複合商業施設の誘致と消雪設備の充実**  
工業団地内の消雪設備の充実  
セルフ給油場、ゴミ処理施設など

大垣方面の電車の本数をもっと増やして欲しい。学生として30分に一本はきついあと、**新幹線**がわざわざ通っているなら**米原駅周辺**をもっと栄えさせた方が訪れてくる人も増えると思う

米原市の人口減少が止まらないのは、出生率が低いこともあるが、その前に、若者が米原市を出て行くこともある。若者が学校を出ても、大学を卒業しても、夢を持って働く職場を用意すること。企業を誘致することが、人口減少をくい止める一つの策と考える。

小さい子がいるので、子どもが安心して遊べる環境があると嬉しいです。

一緒に使われることが多い単語間の関係性を表現  
単語はノード(点)として表示され、一緒に出現する単語は線で表示されます。

3-2-2

## キーワード分析



年齢別

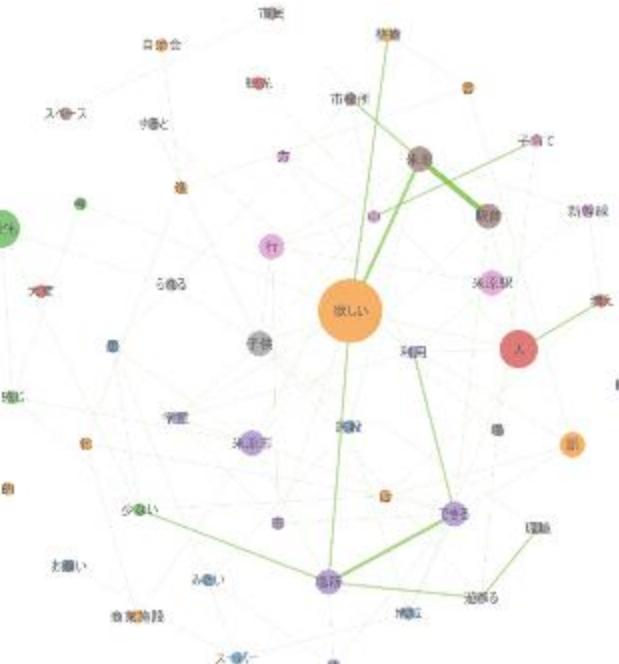
### 3-2. アンケート結果の分析 ~ ワードクラウド・共起ネットワーク【年齢別：生産年齢】~

## アンケート回答数

53 件



## 特徴（全体との差）



**子育て中の大人が気兼ねなく遊べる場所が少ない。**支援センターは3時で終わるし、そこから遊ぶ場所がない。また、ふたばっこは午後利用が少なく、行くと嫌がられる。借りる手間とお金もかかる。**小学校下校後に子どもが遊ぶ場所(影があったり、遊具がたくさんある場所)も少ない。**子どもが自分たちで予約は難しく、常時利用できるところが欲しい。

観光はもちろん、そのほかの分野でも彦根市との連携を深めて欲しい。また米原市民にとって彦根や長浜に行く必要がなくなるような商業施設や医療機関等々が不可欠だと思います。

理由は色々あると思いますが、**米原市に病院がなさすぎると思います**。子供の体調を見て欲しい時に近くに病院がないため、長浜へ行って、長い時間待って見てもらうか、〇福の使えない岐阜へ行かないと行けないのが現状で、子育てに不便な町だと正直思ってしまいます。簡単には解決できないことだと私は思いますが、子育て目線でみたみんなの意見が伝わればと思い、意見を言わせていただきました。（原文のまま）

TETEEが素晴らしいです。  
4階の屋上広場や、ワーキングスペースなどを市民に開放されていて素晴らしい。駅から直結しており、アクセスもよく  
どうか今後も市民に開かれた米原市役所であり続けてください。

- ✓ 子育てに関するキーワード、市内の商業施設、公共施設の充実に関する意見が多く集まった。特に、近隣の市と比較した意見も見られた。
  - ✓ 市外の方からは、市役所施設(TETTE)に対する好意的な意見があった

### 3-2. アンケート結果の分析 ~ ワードクラウド・共起ネットワーク【年齢別：年少】~

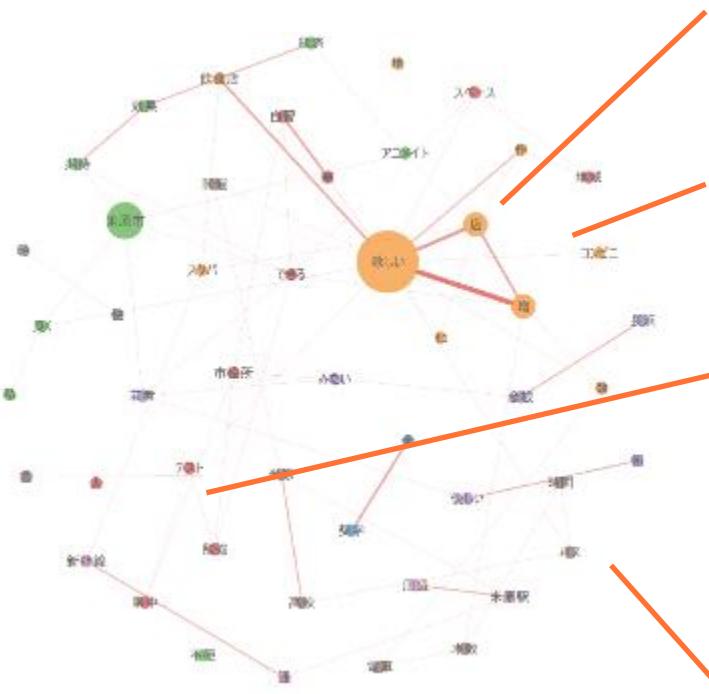
## アンケート回答数

35 件



## 特徴（全体との差）

- ✓ 米原駅周辺の商業施設、飲食店に関する要望、およびTETTEの利用(自習スペース)に関する意見が多く集まった
  - ✓ 公共交通に対する要望の声もあった



もっと電車の数を増やして欲しい。数が少なすぎて不便。  
マクドスタバなどの長浜や彦根みたいに若者増加に特化したお店  
をつくってほしいです。

米原駅周辺にローソンや大きめのコンビニ、手軽に行けるスタバや飲食店が欲しいです

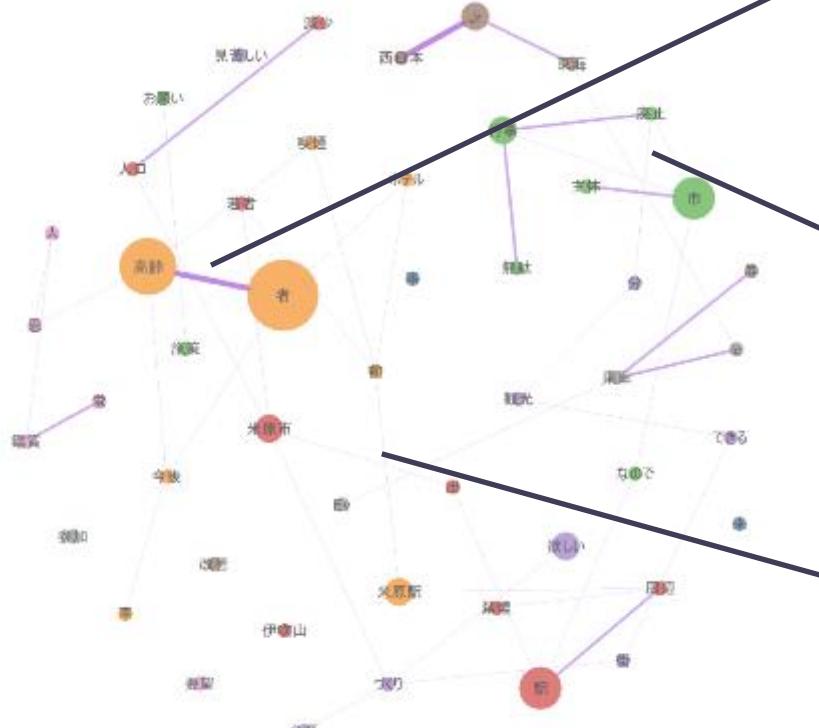
冬に受験を控えている高校3年生です。3階のコワーキングスペースをよく活用させて頂いております。地域のスペースなのでしょうがないとは思うのですが、地域の小学生の子たちが大きな声でお話をしているので気が散って集中できないことがあります。テスト期間に解放してくださっている会議室はすごく静かで集中できています。夏休みも市役所で勉強をしたいなと思っているので夏休みにも会議室を自習室として解放して頂きたいです。

米原高校へのバスの時間や本数を調整して欲しい

### 3-2. アンケート結果の分析 ~ ワードクラウド・共起ネットワーク【年齢別：高齢】~

## アンケート回答数

13 件



後期高齢者になり、今後車の運転が出来なくなると、買い物などに行き辛くなります。公共交通機関の充実を検討していただきたいと思います。

- 1) 長岡蛍祭り 蛍を鑑賞する人10 % もいません キッチンカー フェスの感あり 蛍鑑賞会にして静かな**行事**にすべきです。
  - 2) ハートフルフォーラム 参加希望者がいません 強制参加は反対 無駄な**行事廃止**すべき。
  - 3) 市クリーン作戦も無駄 行事廃止を30 分のブラブラ歩きで 缶回収ゼロ状態 これで一日中潰れるのはいかがなものか？
  - 4) 市主体で行う**行事**は 市が主体で動いてください。

米原市の人口減少が止まらないのは、出生率が低いこともあるが、その前に、**若者**が米原市を出て行くことにもある。若者が学校を出ても、大学を卒業しても、夢を持って働く職場を用意すること。企業を誘致することが、人口減少をくい止める一つの策と考える。

## 特徴（全体との差）

- ✓ 全体で13件のため、強い特徴を示すものは少ないが、公共交通や地域イベントに関する意見があった
  - ✓ 紙で要望を聞いてほしいといった意見もあった(80歳代以上)

3-2-3

## キーワード分析



居住地別

## 3-2. アンケート結果の分析 ~ ワードクラウド・共起ネットワーク【居住地別】~

アンケート回答数-米原地域

**36**



アンケート回答数-山東地域

**21**



アンケート回答数-近江地域

**11**



アンケート回答数-伊吹地域

**8**



アンケート回答数-長浜市

**8**



アンケート回答数-彦根市

**5**



アンケート回答数-市外

**10**



アンケート回答数-回答しない

**2**



### 居住地別

- ✓ 居住地別のワードクラウド、共起ネットワークを作成したが、それが似た構成になっており、特徴が無い事が分かる  
(=それぞれの居住地の回答内容がばらついている)
- ✓ 市外(長浜・彦根以外)に関しては、「観光」がキーワードになっており、異なる傾向を示している

3-3

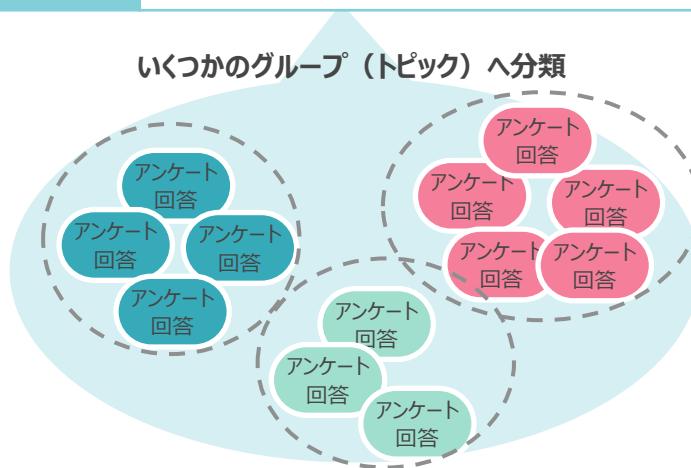
# トピック分析

### 3-3. アンケート結果の分析 ~ トピック分析 ~

アンケート回答を要素分解しトピック分析を行いました。

#### 分析手法

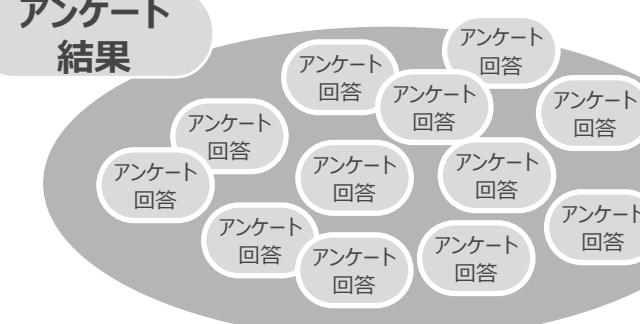
#### トピック分析（トピックモデル）



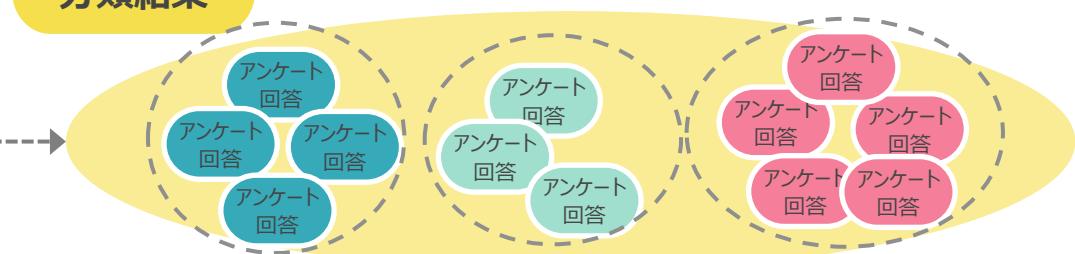
#### アンケート回答のキーワード分析

収集したアンケート結果で分析を行い、使用単語より傾向が近いいくつかのグループ（トピック）へ分類

#### アンケート結果

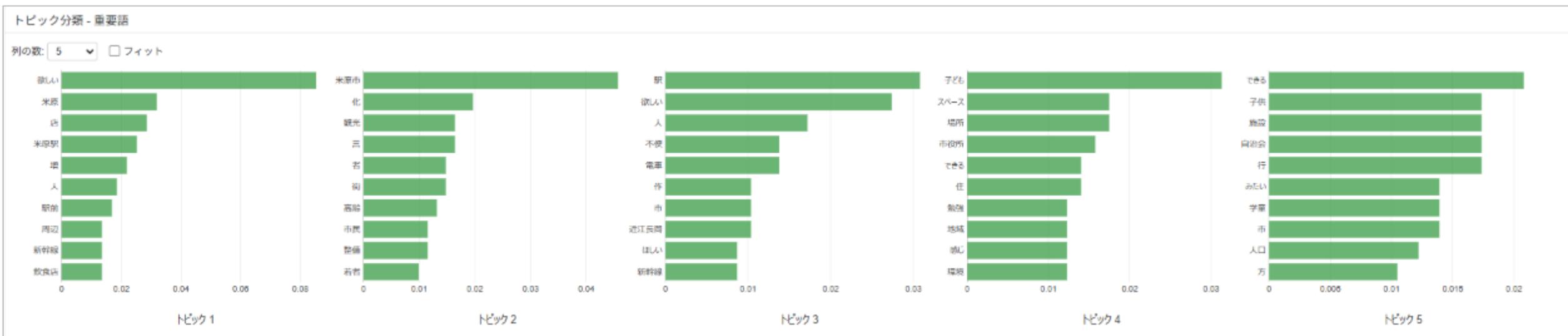


#### 分類結果



### 3-3. アンケート結果の分析 ~ トピック分析 ~

トピック分析で 5 つに分類したら、以下のようになりました



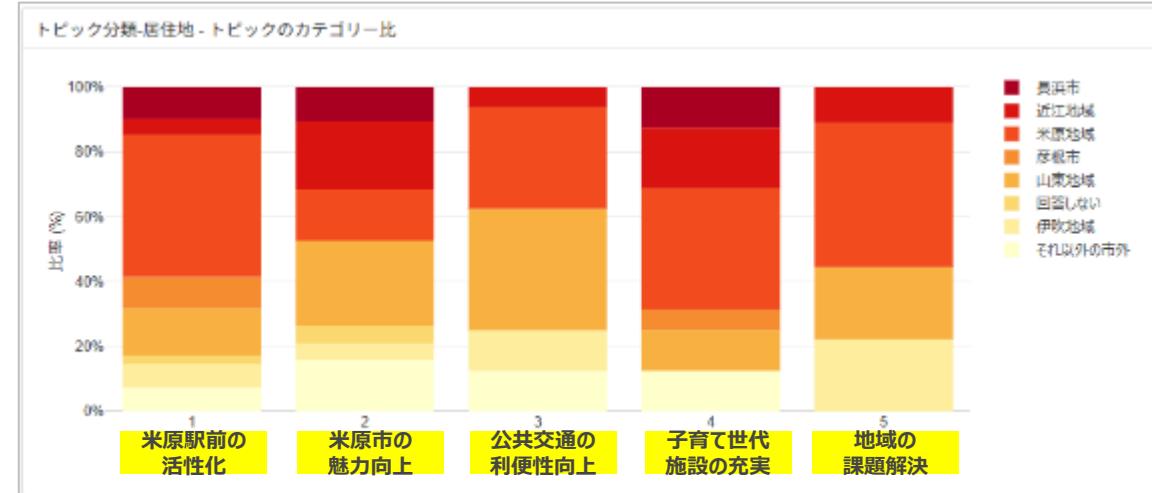
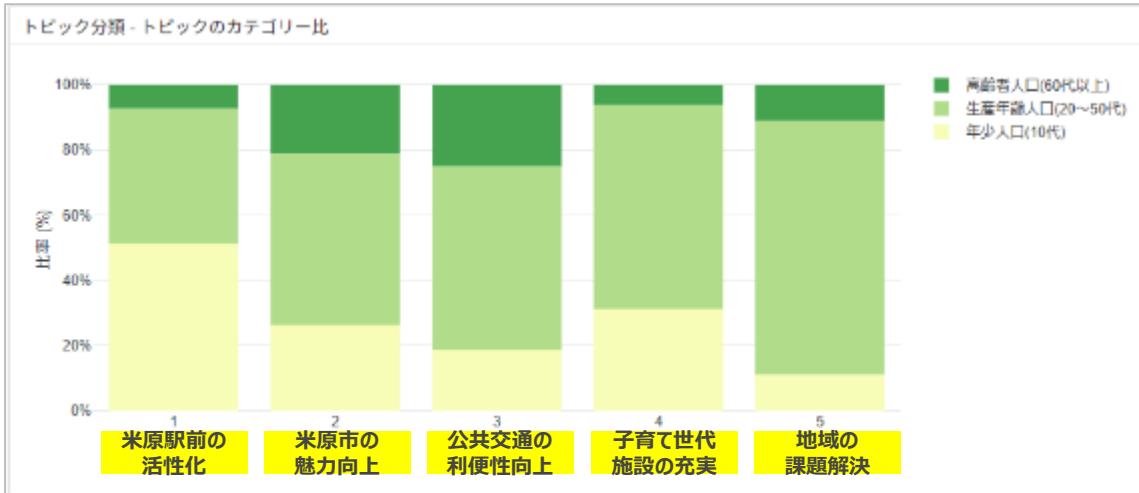
#### 分析結果

- ✓ トピック 1 : **米原駅前の活性化**に関する意見
- ✓ トピック 2 : **米原市の魅力向上(観光アピール/施設誘致)**に関する意見
- ✓ トピック 3 : **公共交通の利便性向上**に関する意見
- ✓ トピック 4 : **子育て世代の施設の充実**に関する意見
- ✓ トピック 5 : **地域の課題解決**に関する意見

### 3-3. アンケート結果の分析 ~トピックごとの代表的な意見~

トピック 1	トピック表題 米原駅前の活性化	トピック適合率 73 %	アンケート回答(抜粋)
トピック 2	トピック表題 米原市の魅力向上 (観光/施設誘致)	トピック適合率 70 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>米原駅前をもっとよく、飲食店とか、スーパー、などもっと増やして</li> <li>若者が、住みたがる街になって欲しい←米原駅前に、もっと大型のお店、駅直結の保育園や、飲食店が拡充されて欲しい(若者がきて欲しい狙い場所を集中させる)←米原駅で乗降する人を増やす(湖北エリアに旅行にくる人を、乗換させず、米原駅で降ろせる)。</li> <li>… (長文のため省略)</li> </ul>
トピック 3	トピック表題 公共交通の利便性向上	トピック適合率 88 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>醒井・伊吹山・関ヶ原を結ぶ「サステナブル観光トレイル」の整備とAR/デジタルガイド導入 米原市の魅力である「醒井の梅花藻」「伊吹山」「関ヶ原」を一体的に楽しめる“サステナブル観光トレイル”を整備してはいかがでしょうか。すでに米原駅前のTETTEで自転車の貸し出しが行われており、これを活かして「エコツーリズム+地域回遊」を促すルート設定が可能。</li> <li>… (長文のため省略)</li> </ul>
トピック 4	トピック表題 子育て世代施設の充実	トピック適合率 78 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>アニメイトというお店がこの辺で1番近いのだと草津、岐阜にあります。その2つを結んでちょうど半分にした辺りに米原市があります。よって、アニメイトを米原市に立てることでバランスも良くなり、近代のサブカルチャーの絶大な人気から米原市も栄えることとなるでしょう。</li> <li>… (長文のため省略)</li> </ul>
トピック 5	トピック表題 地域の課題解決	トピック適合率 93 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR西日本とJR東海でIC乗車券での乗り継ぎできない事にとても不便を感じています。該当するのは、醒ヶ井、近江長岡、柏原の3駅のみなので少数意見かとは思いますが… (長文のため中略) 観光の見込める醒ヶ井の梅花藻、近江長岡の伊吹山登山等で大阪方面から電車で来た場合に、自動改札が通れない事を事前に理解できている人はほとんどいないと思われ、ましてや無人駅のため、かなり面倒なことになっていると思われます。</li> <li>… (長文のため省略)</li> </ul>
		トピック適合率 88 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>北陸地方へいく電車が北陸新幹線が敦賀まで延伸したことによって不便になってしまった。電車の本数を増やすようにJRへ要望したい。</li> <li>先日、本庁舎でイベントがあった際に、3階フリースペースに子連れで行きました。キッズスペースもあり、子連れでも休憩しやすく、助かりました。</li> <li>(長文のため中略) たくさんの学生さんや大人が勉強などに集中できる場所を求めておられること、子どもたちと保護者が、大きな気遣いなく過ごせる場所を求めていることを知り、それぞれが快適に過ごせる場所があれば、もっと住みやすくなると思いました。</li> </ul>
		トピック適合率 93 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬に受験を控えている高校3年生です。3階のコワーキングスペースをよく活用させて頂いております。地域のスペースなのでしょうがないとは思うのですが、地域の小学生の子たちが大きな声でお話をしているので気が散って集中できないことがあります。</li> <li>… (長文のため省略)</li> </ul>
		トピック適合率 89 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口が減少している件について おそらく、新婚世帯の転入が少ないとと思われます。米原市の学童保育は、他部と比較すると、利用制限が多すぎます。</li> <li>(長文のため中略) 民間学童の誘致や、市の学童保育施設であっても子供の送迎の工夫、今後の長い投資だと思い制度を整えていただきたい。住宅の開発ばかり行っても、縁のある方のみが仕方なく居住しているのみで、ゆかりのない方の転入は少ないのではないかと感じます。</li> <li>市行政に関わることはIT化が進んでいますが、自治会レベルになると途端に昭和な合意形成であったり、紙媒体や直接訪問する等、手間が増え時間のとられることが多いと感じています。この辺りもIT化の促進をお願いしたいです。</li> </ul>
		トピック適合率 86 %	
		トピック適合率 69 %	

### 3-3. アンケート結果の分析 ~トピックごとの年齢別・居住地別の割合~



#### 年代別の割合

- ✓ 年代別の比率が多いものをあげると、以下の通り。  
年少人口：「米原駅前の活性化」  
生産年齢人口：「子育て世代の施設の充実」と「地域に対する要望」  
高齢者人口：「公共交通の利便性向上」と「米原市の魅力向上」

#### 居住地別の割合

- ✓ 「米原市の魅力向上」の割合は、米原地域より、近江地域や山東地域の方が比率が多い。  
アンケート全体では米原地域が最も回答数多いため、各トピック別でも最も比率が多いが、「米原市の魅力向上」のみ、他のトピックと異なる傾向が見られる
- ✓ 公共交通の利便性向上は、山東地域の比率が多い

# 04

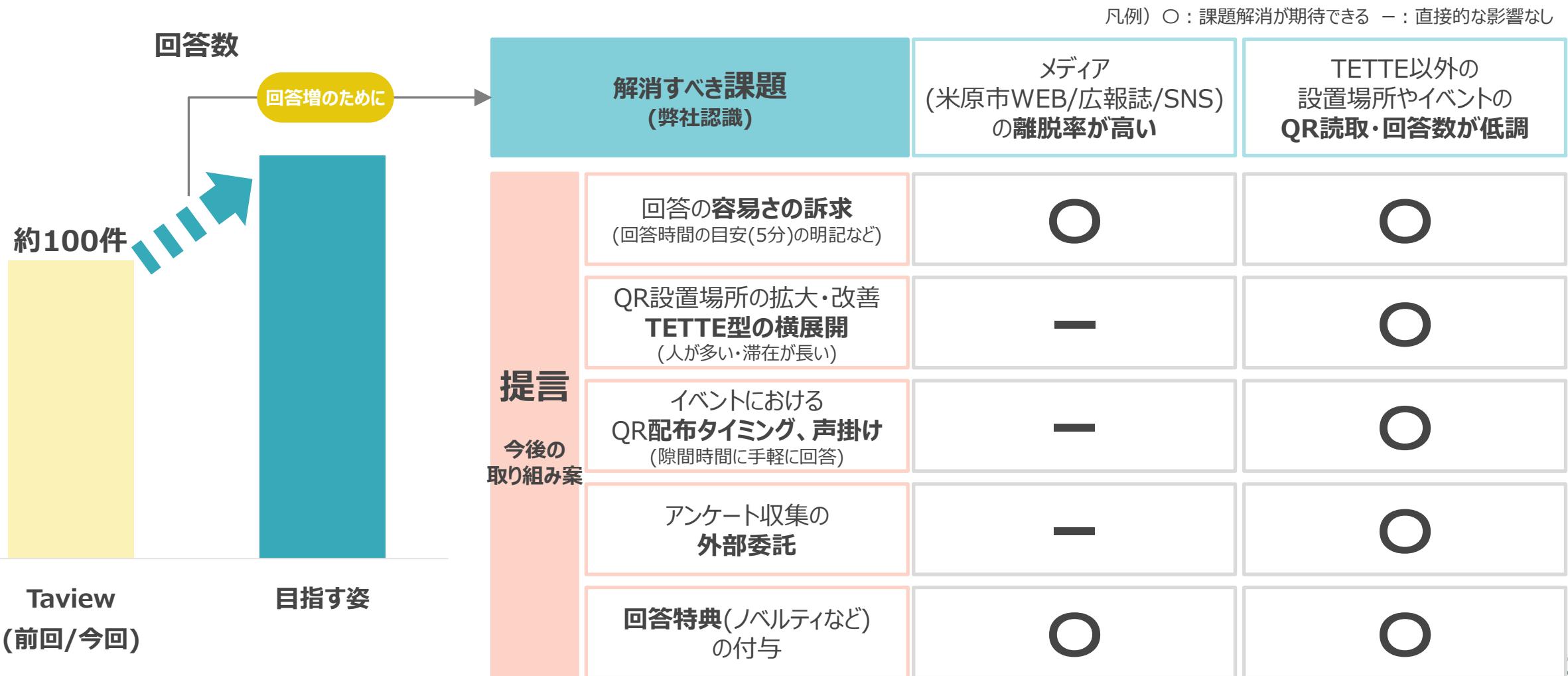
## まとめ

- 01 レポート条件
- 02 分析概要
- 03 分析結果
- 04 まとめ

## アンケート回答数の増加 に向けて

## 4-1. アンケート回答数の増加に向けて

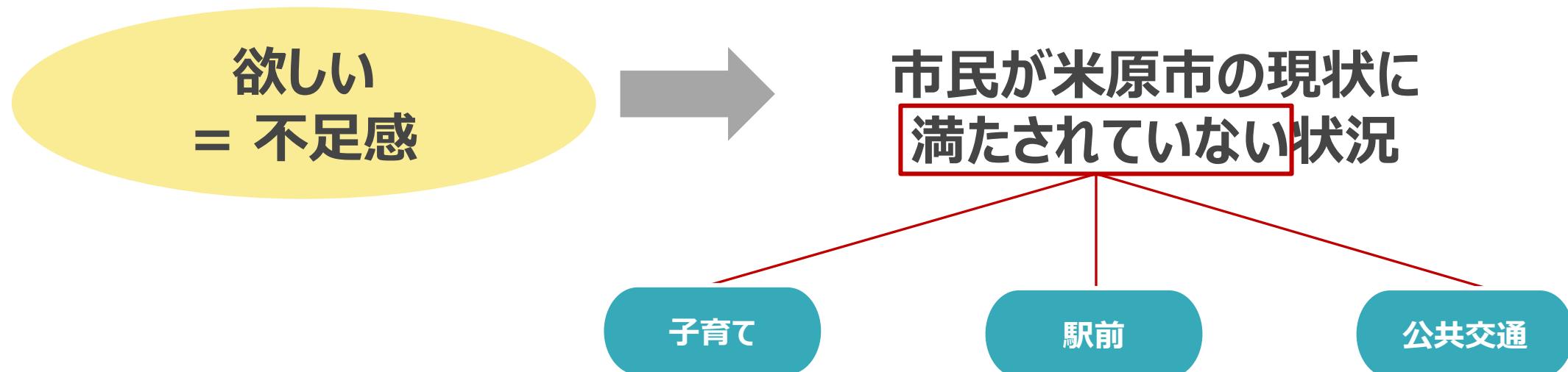
Taviewのアンケート収集は今回が2回目の実施となりましたが、回答数はいずれも100件を超えており、従来の収集方法よりも10倍以上の回答を集めました。そのため、Taviewを活用した意見収集は広聴のDX化に向けた取り組みとして一定の評価が得られたと考えます。しかしながら、今後の広聴の拡大を目指すという点では課題も見えてきたため、以下のような取り組みを提言させていただきます。



## アンケート結果を踏まえた 施策への提言

## 4-2. まちづくり提案箱の結果を踏まえた提言

まちづくり提案箱の結果を踏まえると、「欲しい」というキーワードが多くみられました。米原市の現状に市民が満足していない状況であると考えます。「街・駅前」、「子育て」、「交通」というトピック（グループ）が見られ、そういった施策における効果が市民に感じられていない状況です。



## 4-2. まちづくり提案箱の結果を踏まえた提言 アンケートの傾向やキーワード・意見の抽出

アンケートの結果から、各年代における「米原市に対する不足感」が読み取れました。

例えば、課題として人口流出防止のためには、「①子育て世代の満足度向上」、「②若者世代の満足度向上」について施策を打っていくことが一つ解決策となる考えます。

どのようなまち・どのような暮らしなら  
米原市がもっと住みやすくなるか  
教えてください

回答の背景を確認すると

米原市に対する不足感  
(商業・子育て施設、賑わい、公共交通)

例：人口流出防止

どうすればいいのか？

①子育て世代の満足度向上

②若者世代の満足度向上

### ①子育て世代の満足度向上

事業化に資する有効なトピック・キーワード

子育て

学童保育の見直し

遊べる場所

スーパー等店舗の増加

病院

幼い子供を育てている世代への聞き取り

### ②若者世代の満足度向上

事業化に資する有効なトピック・キーワード

駅前

駅前にカフェ・ファストフードが欲しい

企業誘致

米原駅周辺などの賑わいを増やす

公共交通

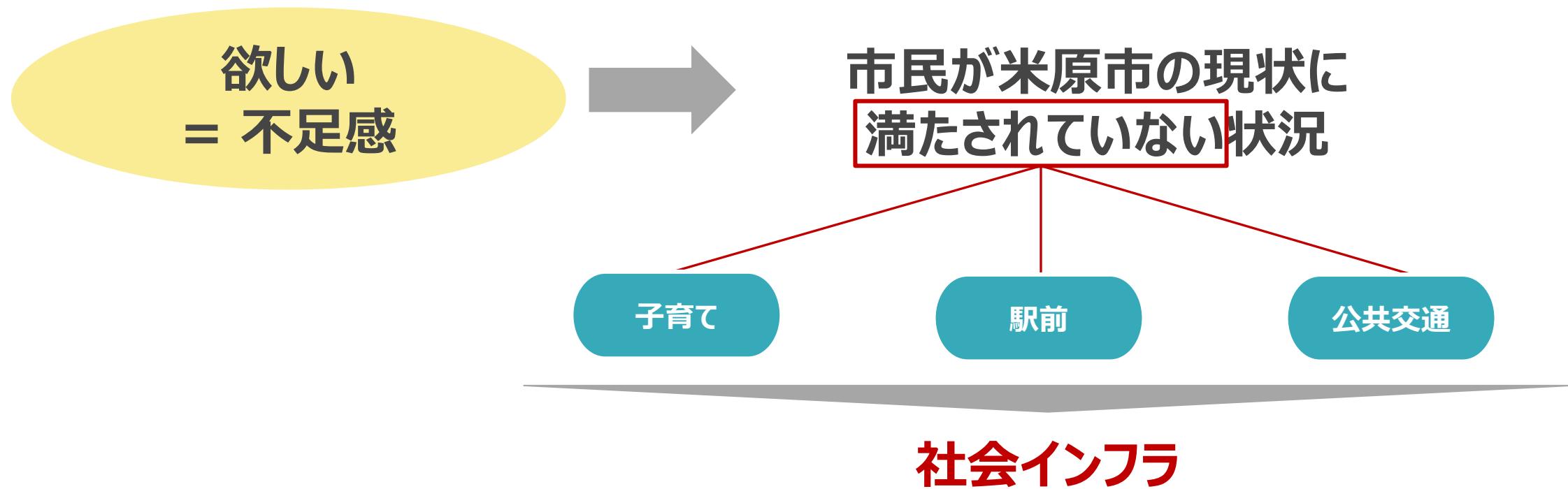
車社会の改善

バスの増加

駐車場・駐輪場の増設

## 4-2. まちづくり提案箱の結果を踏まえた提言

また、「街・駅前」、「子育て」、「交通」というトピック（グループ）が見られ、これらは社会インフラとなります。社会インフラを今後米原市様で構築していくことは現実的ではありません。

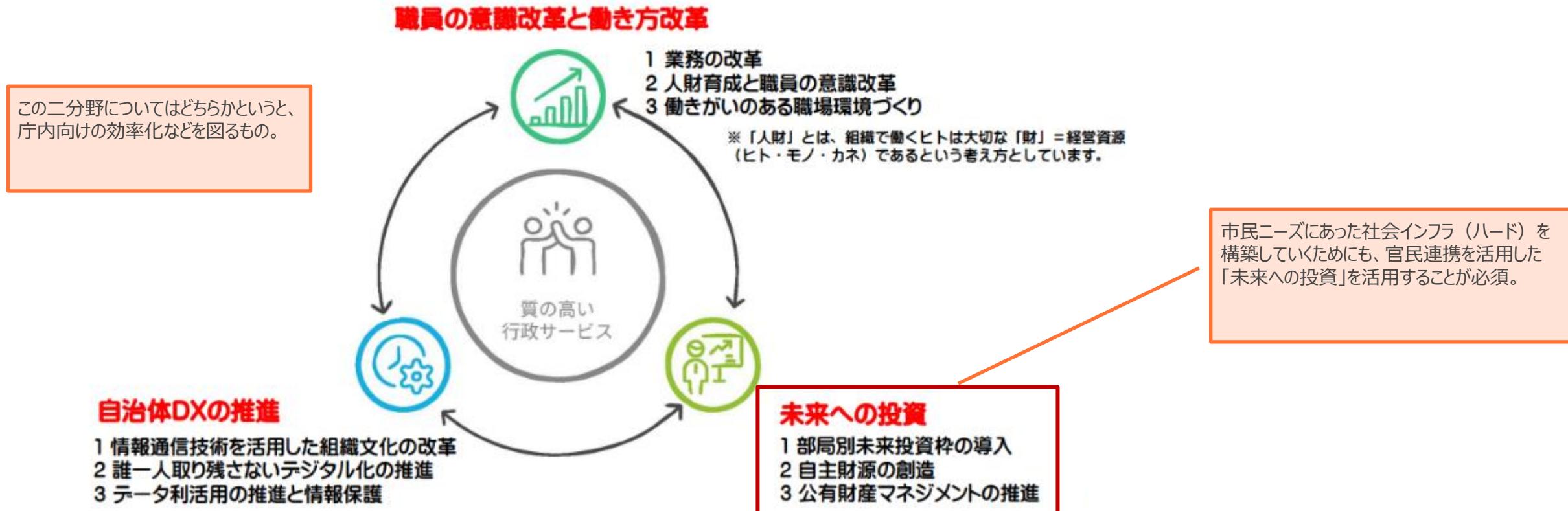


- ✓ 米原市様が単独で対応可能な行政サービスに加えて、施策や民間サービスの組み合わせが必須。  
⇒ 「行政経営改革プラン」に示されているとおり民間との連携（PPP/PFI）などの活用が求められます。

## 4-2. まちづくり提案箱の結果を踏まえた提言 行政経営改革プラン

前ページで示したように、市民ニーズとなっている社会インフラを整備していくためには、別途、進めておられる「行政経営改革プラン」に示されている「未来への投資」を推進していく必要があります。

### 第5 行政経営改革プランの体系



## 4-2. まちづくり提案箱の結果を踏まえた提言 行政経営改革プラン 未来への投資

### 未来への投資

#### 1 部局別未来投資枠の導入

- 持続可能なまちづくりと限られた財源の有効活用を目指し、「部局別未来投資枠」を導入します。これは、各部局が業務改革等で創出した財源を、職員自身が企画、立案・実行する中長期的な投資的事業に活用できる仕組みです。職員一人一人がまちの未来を見据え、自発的にアイデアを出し、創造性を生かして事業に取り組むことで、主体的な組織風土を醸成します。この未来投資枠を通して、市民サービスの向上と持続可能なまちづくりを実現していきます。

##### ●進捗管理指標

###### ○部局別未来投資枠を活用した事業数

0事業(令和6年度) → 30事業(累計)

目標年度:令和11年度

※6部局×1事業×5年=30事業

### 2 自主財源の創造

- 積極的な自主財源の創造に取り組みます。産業用地や住宅用地の確保を進め、これらを活用した企業誘致や定住人口の増加による財源確保を目指します。また、職員一人一人が自主財源確保の意識を持ち、関係部署との連携強化、企業や住民への積極的な情報発信など、具体的な施策を展開し、持続可能で安定的な財源確保につなげます。

- PPP/PFI 手法を活用した公共施設等の整備・運営や、民間企業の持つノウハウを活用した事業展開など、公民連携を積極的に推進します。また、地域課題の解決や新たな地域資源の創出を目的としたクラウドファンディングなど、多様な資金調達スキームを活用し、市民や事業者との協働による財源確保にも取り組みます。

##### ●進捗管理指標

###### ○経常収支比率

目標年度:令和11年度

98.0%

(令和6年版中期財政計画のR11年度予測値)

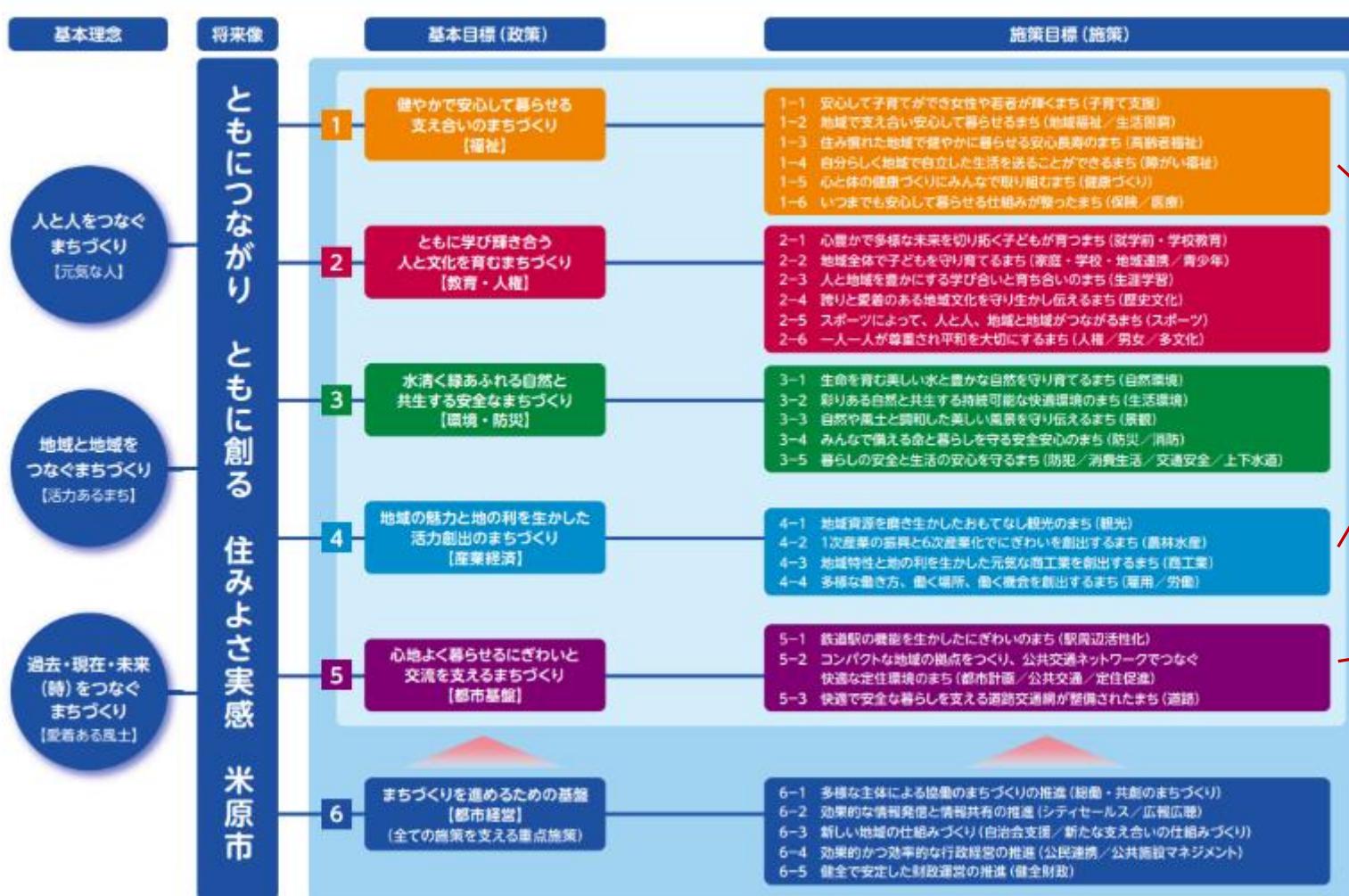
→ 87.7%

※87.7%は令和5年度の本市の経常収支比率  
(滋賀県内の他市町の令和5年度平均は91.8%)

## 4-2. まちづくり提案箱の結果を踏まえた提言 第二次総合計画の施策体系

今回のアンケートにより、抽出されたトピックについては、第二次総合計画にも示された施策と大きく関連するものと考えます。現在、次期総合計画を策定中ではあります、本分析結果もインプットにしていただくことが肝要です。

### 政策・施策体系



街・駅前

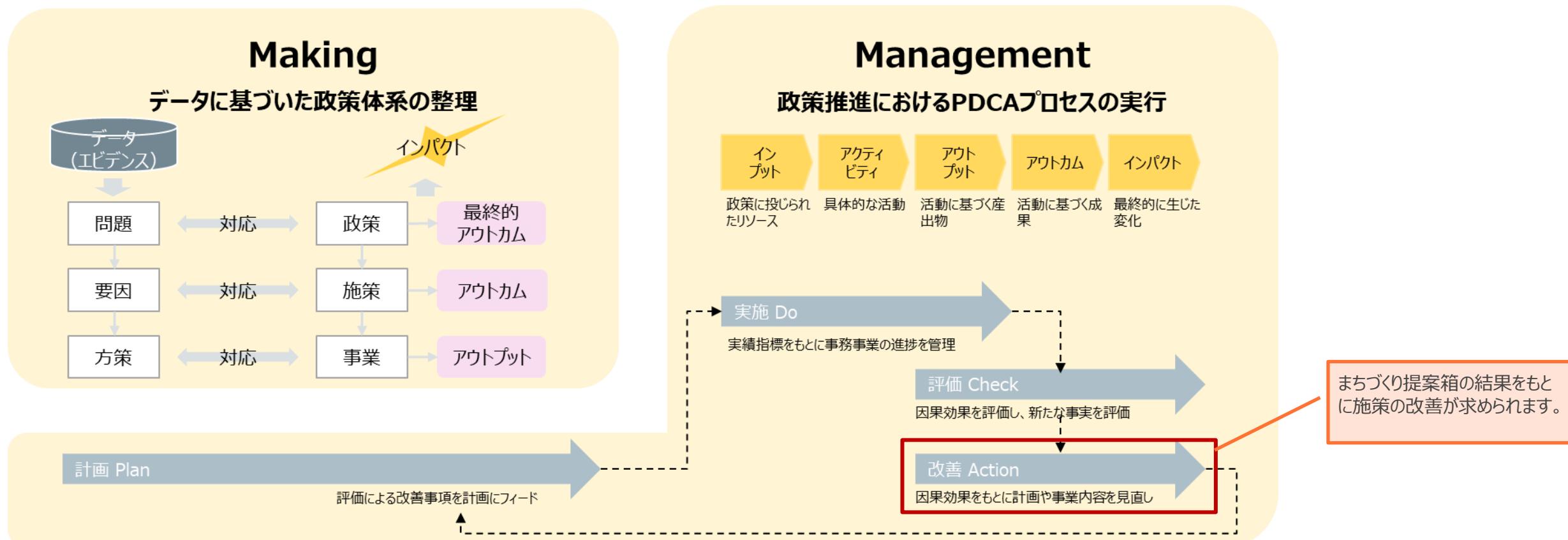
子育て

交通

## 4-2. まちづくり提案箱の結果を踏まえた提言 EBPM

EBPMとはEvidence Based Policy Makingの略で政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとするです。

一般的には、EBPMの「M」は「**Making**」だけですが、データに基づいてPDCAを回していく、「**Management**」も重要です。



**Taview**

# “デジタル目安箱”で 市民の声に寄り添った未来へ

広聴のDX化により  
幅広い意見収集や収集した意見に対するフィードバックで  
より良い米原市へ

ぜひ Taview をご活用ください

